

「AS グループ基金」様より、今年度も「長崎県愛の福祉基金」へ

寄付をいただきました。

「AS グループ基金」とは、昭和 31 年(1956 年)3 月、長崎県警察本部へ
「気の毒なお友達にあげてください。A 子 S 子 17 歳」という便りとともに
300 円が送られてきたのをきっかけに、名付けられました。その後、Y 子さんも加
わり、昭和 48 年(1973 年)から「長崎県愛の福祉基金」へ寄託されています。

平成 16 年(2004 年)からは Y 子さんの娘さんが、亡くなった母親の遺志を継
ぎ、寄付を続けておられます。

今年度も令和 8 年 1 月 20 日に、長崎県警察本部より「AS グループ基金」とし
て長崎県愛の福祉基金へ寄付されました。

A 子さん、S 子さん、Y 子さんが始められた寄付は、Y 子さんの娘さんへと引き
継がれ、その善意は 70 年欠かさず届けられています。

今年は、Y 子さんの娘さん等に引き継がれて 42 回目(累計 25 万 5 千円)の年
を迎えます。



愛の福祉基金箱（左）とキャッチくん（右）

いただいた浄財は、長崎県愛の福祉基金条例に基づき、障害者の福祉の増進を図るため、愛の福祉事業振興補助金をはじめ、障害者芸術祭や障害者スポーツの振興等、県内のさまざまな障害福祉事業に有効に活用させていただきます。



長崎県警察本部（写真左）から、長崎県障害福祉課へ寄付の様子